



2023年  
4月5日  
No.A22-12

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

## 中東調査会月間活動誌 (2023年3月)

### 1. 中東調査会主催の行事

#### (1) 特別講演会

・3月13日(月)、アイマン・サファディ ヨルダン副首相兼外務・移民相

「Foreign Policy in Jordan: Overview (ヨルダン：外交政策の概要)」(於：帝国ホテル)



#### <要旨>

サファディ大臣は、過去10年間の経済的課題に対する日本の援助に謝意を示し、ヨルダンと中東全体の安定を確保するためには、発展が不可欠であると述べられた。そのためには、イスラエル・パレスチナ紛争、シリア難民問題、イラクの安定化といった緊急課題に取り組みながら、ヨルダンの人的資源を活用する必要性を強調した。

#### (2) トップ・ミーティング

・3月15日(水)、國分 良成 前防衛大学校長・慶應義塾大学名誉教授「3期目に入った習近平政権の直面する課題」(於：オークラ東京)

#### <要旨>

講師より、3期目に突入した習近平政権の現

状や課題として、体制内権力構造の変化や経済状況、台湾情勢への対応等について説明がなされた。またこの上で、我が国や米国がとりうる具体的な対応やシナリオについての分析があった。



#### (3) 中東情勢分析発表会

・3月24日(金)、上席研究員 金谷 美紗「地震後のシリアをめぐる地域情勢：シリア支援外交とイラン・イスラエル関係に注目して」(Zoom形式)

#### <要旨>

講師より、トルコ・シリア地震を経て、アラブ諸国のシリア支援外交がシリアの孤立解消をもたらさうるか、またこの動きが今後の地域情勢に及ぼす影響について、イスラエル・イラン関係にも言及しつつ説明があった。



## 2. 中東調査会の活動

### (1) 中東トピックスの発行【会員限定】

- ・2023年3月号(2023年4月5日付)
- 1. サウジアラビア：イランとの国交回復に向けた動きとその影響
- 2. トルコ：議会がフィンランドの NATO 加盟を批准
- 3. イスラエル：内政の大混乱の末、司法改革案の審議停止を発表
- 4. カタル：首相及び内相の交代
- 5. イラン：新年のスローガンを「インフレの抑制と生産の成長」と発表
- 6. アフガニスタン：モックキー外相代行が諸外国との関係拡大を要望
- 7. モロッコ：IMFに50億ドル相当の新規融資を要請

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/topics/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/))

### (2) 中東かわら版の発行

- No.150「シリア：地震による諸外国のシリア関与と域内情勢への影響」(上席研究員 金谷美紗、3月1日)
- No.151「UAE：Abrahamic Family Houseでの一般訪問客の受入開始」(主任研究員 高尾賢一郎、3月2日)
- No.152「イラン：ドイツ人外交官2名にペルソナ・ノン・グラータを通告」(主任研究員 青木健太、3月2日)
- No.153「イラン：多数の女子学生が中毒症状で病院に搬送」(主任研究員 青木健太、3月3日)
- No.154「イラン：グロッシ IAEA 事務局長がテヘラン訪問、査察強化で合意」(主任研究員 青木健太、3月6日)
- No.155「トルコ：野党分裂騒動と大統領統一候補の発表」(主任研究員 金子真夕、3月7日)

- No.156「イスラエル：司法改革反対運動の拡大」(上席研究員 金谷美紗、3月10日)
  - No.157「イラン・サウジアラビア：中国の仲介で外交関係が正常化」(主任研究員 青木健太、3月13日)
  - No.158「サウジアラビア：イランとの国交回復決定に至った背景及びその影響」(主任研究員 高尾賢一郎、3月14日)
  - No.159「イスラエル：ウクライナへの対ドローン兵器輸出を承認」(上席研究員 金谷美紗、3月17日)
  - No.160「トルコ：フィンランドの NATO 加盟承認手続き開始を決定」(主任研究員 金子真夕、3月20日)
  - No.161「チュニジア：新議会の発足」(研究員 高橋雅英、3月20日)
  - No.162「アルジェリア：内閣改造(第3次ベンアブドゥルラフマーン内閣)」(研究員 高橋雅英、3月20日)
  - No.163「イスラエル：司法改革の法制化に反対したガラント国防相を解任」(上席研究員 金谷美紗、3月27日)
  - No.164「UAE：1年近い空位を経てアブダビ皇太子が任命」(主任研究員 高尾賢一郎、3月30日)
- (<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

### (3) 中東分析レポートの発行【会員限定】

- ・No.13「ペルシャ湾岸諸国と中国の接近——その背景、意図、展望——」(3月17日)
- ・No.14「ターリバーン暫定政権の対外関係——「事実上の承認」とその具体的な様態——」(3月29日)
- ・No.15「地震後シリアをめぐる地域情勢——シリア支援外交とイスラエル・イラン関係に注目して——」(3月30日)

※内容はホームページをご参照ください

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/report/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/))

- (4) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】  
・No.22「ブルキナファソにおける「イスラーム国・サヘル州」の伸長とサヘル地域情勢」(3月30日)

※内容はホームページをご参照ください。

([https://www.meij.or.jp/trend\\_analysis/monitor/](https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/))

#### (5) その他の活動

- ・3月2日(木)、米国の中東研究所(Middle East Institute)のムハンマド・ソリマン・プログラム・ディレクター(戦略的テクノロジー及びサイバー・セキュリティ・プログラム)が来訪し、当調査会の研究員らと意見交換を行った。



- ・3月16日(木)、アルザマーナーン駐日クウェート大使が来訪し、当会の浅子副理事長や高尾主任研究員と意見交換を行った。



- ・3月22日(水)、主任研究員 高尾賢一郎が日本サウディアラビア協会主催ウェビナー講演に登壇した。「サウディアラビアは「何」化

しているのか～ムスリム社会が迎える「変革」を読み解く～」

- ・3月28日(火)、横浜市立大学第7回ジェンダー研究会・都市社会文化研究科特別セミナー「中東地域の現状と今後」(オンライン)で、当会研究員が報告した。

- ① 「ターリバーン暫定政権下のアフガニスタンと女性をとりまく状況」(主任研究員 青木健太)
- ② 「大地震がトルコに与えたインパクト——内外政の視点から」(主任研究員 金子真夕)
- ③ 「地震後のシリア情勢と地域国際関係の変化」(上席研究員 金谷美紗)。

### 3. その他 (要人往来)

- ・3日、林外相は訪問先のインドでオマーンのブーサイディー外相と会談した。
- ・13日、林外相は訪日中のヨルダンのサファディ・ヨルダン副首相兼外務・移民相と会談した。
- ・14日、岸田首相は訪日中のヨルダンのサファディ・ヨルダン副首相兼外務・移民相の表敬を受けた。
- ・14日、岸田首相はイスラエルのヘルツォグ大統領と電話会談した。

### 4. 4月の予定

- ・4月7日(金)、8:30~10:00、於：オークラ東京プレステージタワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング(渡部 恒雄 笹川平和財団 上席研究員(「バイデン政権の内政と外交」)

#### **\*法人会員限定**

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

## **5. 出版物刊行のご案内**

・3月1日、『別冊・中東研究：中東各国動向(2022)』（定価：本体2000円＋税）が発行されました。1年間の中東各国動向をまとめた「日誌データ」、重要なニュースをピックアップして解説した「かわら版」、会員限定レポート「イスラーム過激派モニター」、及び、特別書き下ろし「2022年のイスラーム過激派の動向——最近の衰退傾向と今後の脅威について」を所収しております。是非お手に取ってご覧ください。

※通常の『中東研究』とは異なり、会員向け配布はございません。

(<https://www.meij.or.jp/publication/chutoukenkyu>)

\*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

\*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。